

御取扱説明書

殿

29ー原池公園野球場建設工事

競技用音響設備

令和元年 11月 日

TOA株式会社

大阪市中央区 安土町1-8-15

大阪営業所電設グループ

機 器 構 成 表

	名 称	品 番	員 数	備 考
1	電力増幅架		1	
2	・キャビネットラック 41U D=615	CR-413-6	(2)	
3	・デジタルワイヤレスチューナー	WT-D1804	(1)	
4	・デジタルワイヤレスチューナーユニット	WTU-D1800	(2)	
5	・デジタルミキシングプロセッサユニット	Q-2008SPD	(2)	
6	・マイク/ラインインプットモジュール	D-2000AD1	(6)	
7	・ラインアウトプットモジュール	D-2000DA1	(10)	
8	・入力パッチパネル	(特型)	(1)	
9	・設定用ノートPC	NJ4300E	(1)	エプソン製 (HDモデル)
10	・スライドテーブル 2U	R-ST02B	(1)	
11	・L2スイッチ	SWX2210-8G	(3)	ヤマハ製
12	・棚パネル 3U アクリル製パネル・スリット付	R-HP032A-S	(1)	
13	・主電源パネル	PD-1130	(3)	
14	・接続端子盤パネル	JB-031B	(1)	
15	・マルチチャンネルモニター	MP-1216	(2)	
16	・デジタルパワーアンプ 550W×4	DA-550F	(1)	
17	・デジタルパワーアンプ250W×4ch-H	DA-250FH	(3)	
18	・デジタルパワーアンプ150W×4ch-H	DA-150FH	(2)	
19	・出力パッチパネル(A)	(特型)	(1)	
20	・出力パッチパネル(B)	(特型)	(1)	
21	・ジャンクションパネル	JP-1216	(3)	
22	・ブローユニット	BU-412	(1)	
23	・ブランクパネル 2U	BK-023B	(6)	
24	・ブランクパネル 3U	BK-033B	(2)	
25	・通気パネル 1U	PF-013B	(15)	
26	・通気パネル 2U	PF-023B	(2)	
27	・ラックマウント金具	MB-15B	(1)	
28				
29	録音・再生器ワゴン		1	
30	・木製ラック	WR-012EB	(1)	

TOA株式会社

機 器 構 成 表

	名 称	品 番	員 数	備 考
31	・SS/CDレコーダー	SS-CDR250N	(1)	タスカム製
32	・SSステレオオーディオレコーダー	SS-R100	(1)	〃
33	・SS/CDレコーダー用フラッシュスタート用リモコン	RC-SS20	(1)	〃
34	・ブランクパネル 3U	BK-033B	(2)	
35	・通気パネル 1U	PF-013B	(2)	
36	・通気パネル 2U	PF-023B	(1)	
37				
38	音響調整卓		1	
39	・リモートコンソールユニット	D-2012C	(1)	
40	・小型コンソール卓上セット	D-2012AS	(1)	
41	・ヘッドホン	ATH-AVC500	(1)	オーディオテクニカ製
42				
43	モニタースピーカ		2	
44	・コンパクトスピーカー 30W 黒	F-1300BM	(1)	
45	・スピーカー防音マット	MOPAD	(1)	AURALEX製
46				
47	フィールド用スピーカー		1	
48	・コンパクトアレイスピーカー 黒 防滴型	HX-7B-WP	(2)	
49	・スピーカー取付金具 黒 防滴型	HY-TM7B-WP	(1)	
50				
51	内野観客席スピーカー A		6	
52	・コンパクトアレイスピーカー 黒 屋外用	HX-5B-WP	(1)	
53	・スピーカー取付金具 屋外用	HY-WM1WP	(1)	
54	・マッチングトランス	MT-200	(1)	
55				
56	内野観客席スピーカー B		6	
57	・コンパクトアレイスピーカー 黒 屋外用	HX-5B-WP	(1)	
58	・スピーカー取付金具 屋外用	HY-WM1WP	(1)	
59	・マッチングトランス	MT-200	(1)	
60				

TOA株式会社

機 器 構 成 表

	名 称	品 番	員 数	備 考
61	外野観客席スピーカー C		12	
62	・ラインアレイスピーカー 防滴型	SR-S4SWP	(1)	
63	・スピーカー壁チルト金具 屋外用	SR-TB4WP	(1)	
64	・マッチングトランス	MT-S0602	(1)	
65				
66	壁取付用ワイヤレスアンテナ	YW-550	2	
67	フィールドコンセント盤	(特型)	1	
68				
69	アナウンス席カフボックス・マイク		1	
70	・フェーダーボックス	TCC-100	(1)	トモカ製
71	・アクティブ・モニター・スピーカー	6301NX	(1)	フォスター電機製
72	・パッチケーブル 50cm	EC005	(2)	カナレ製
73	・ダイナミックマイクロホン	BETA 57A	(2)	SHURE製
74	・フレキシブルシャフト コネクター付	YM-121	(2)	
75	・卓上用マイクスタンドベース	ST-73A	(2)	
76				
77	ダイナミック型デジタルワイヤレスマイク	WM-D1250	4	
78				
79	デジタルワイヤレスマイク ヘッドセット		2	
80	・デジタルワイヤレスマイク	WM-D1300	(1)	
81	・ヘッドセットマイク ポーチ付	WH-1000	(1)	
82				
83	ワイヤレスマイク用充電電池	WB-2000-2	6	
84	デジタルワイヤレスマイク用充電器	BC-2000	2	
85	ダイナミックマイク	SM58SE	2	SHURE製
86	床上型フリーストップマイクスタンド	ST-310F	2	
87	床上型マイクスタンド ブーム付	ST-321B	2	
88	マイクケーブル 5m	EC-05	4	カナレ製
89	マイクケーブル 10m	EC10	4	〃
90	マイクケーブル 15m	EC15	4	〃

TOA株式会社

機器構成表

[illegible]

TOA株式会社



安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

業務用機器

- この「安全上のご注意」に書かれている内容は、機器共通のものです。
- お読みになった後は、何時でも見られる所に必ず保存してください。
- 設置・据え付け工事・調整は、必ず販売店または専門業者にご相談ください。

安全上のご注意

表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

設置・据付をするとき

- ◎不安定な場所に置かないでください。また、機器の上に重いものをのせないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◎表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ◎電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
火災・感電の原因となります。
- ◎本機の AC アウトレットが供給できる電力は製品に指定されてあるとおりです。
接続する装置の消費電力の合計が指定 W 数を超えないようにしてください。火災の原因となります。
- ◎安全アース端子は必ず接地してください。接地しないで使用すると、感電の原因となります。
ただし、ガス管は危険ですから、絶対に接続しないでください。

使用するとき

- ◎電池収納部以外のケース・端子カバー・裏ふたなどは外さないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので、感電の原因となります。
- ◎本機の上に水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ◎充電式乾電池や充電式機器を充電するときは、専用の充電器をお使いください。
指定以外の充電器を使用すると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因となります。

異常があるとき

- ◎画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、販売店または専門業者にご連絡ください。
- ◎万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて販売店または専門業者にご連絡ください。

廃棄するとき

- ◎電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。
電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因となります。

注意

設置・据付をするとき

- ◎本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ◎重量物の開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
転倒・落下により、けがの原因となることがあります。

使用するとき

- ◎電源コードを熱器具に近付けしないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ◎差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ◎濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ◎定格以上の入力を加えた状態で使用しないでください。
アンプやスピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ◎使用中に異常(おかしいな!)と思われたときは、すぐに販売店または専門業者にご相談ください

デジタルワイヤレスチューナー

 WT-D1802
 WT-D1804

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

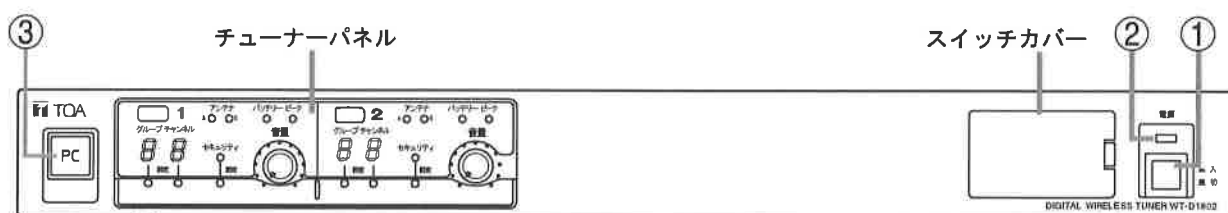
概要

本機は、800 MHz 帯B型PLLシンセサイザー方式のデジタルワイヤレスチューナーです。

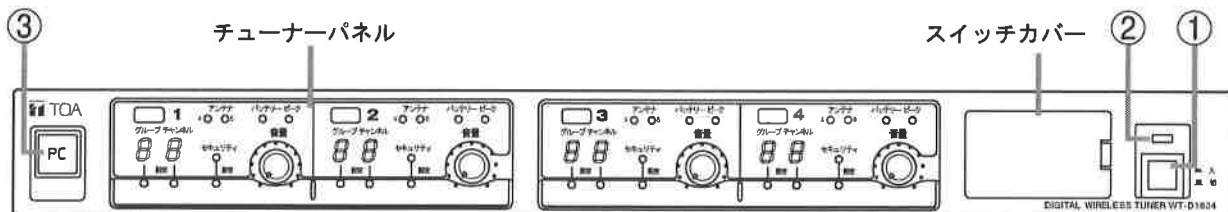
各部の名称とはたらき

[前面]

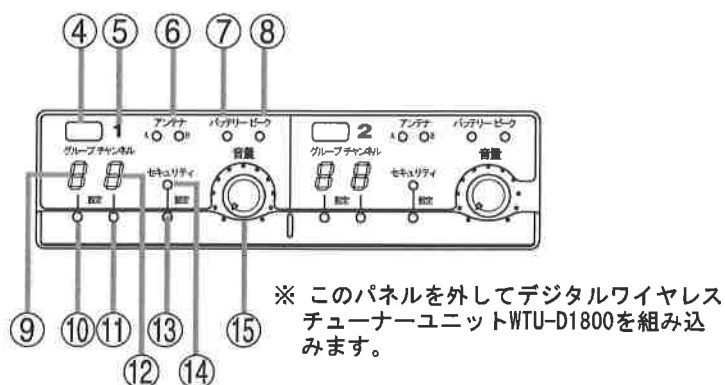
● WT-D1802



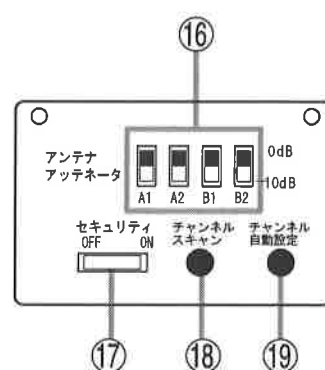
● WT-D1804



[チューナーパネル]



[スイッチカバー内部（設定スイッチ）]



1. 電源スイッチ
押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

2. 電源表示灯
電源を入れると点灯します。

3. PC 接続 USB コネクター
本機とパソコンを接続し、付属の専用ソフトウェアを使って、ワイヤレスマイクおよびチューナーの状態をモニターすることができます。

4. カラーマーク貼付位置
組み合わせるワイヤレスマイクと同じカラーマーク（付属品）を貼ります。

5. チューナーユニット番号
チューナーユニットの番号です。

6. 受信状態表示灯
受信したアンテナ側が点灯します。

表示	状態
緑色点灯	正常
赤色点灯	妨害電波がある、または ID（コード）が不一致
消灯	電波なし

7. 電池残量警告表示灯
ワイヤレスマイクの電池残量の目安を表示します。

表示	残り時間
消灯	電池容量が十分
赤色点灯	電池要交換時期

8. 音声ピーク表示灯
ワイヤレスマイクの音が大きすぎる（歪んでいる）と点灯します。

9. グループ表示
受信するグループを表示します。

10. グループ設定スイッチ
受信するグループを設定します。

11. チャンネル設定スイッチ
受信するチャンネルを設定します。

12. チャンネル表示
受信するチャンネルを表示します。

13. セキュリティ設定スイッチ
IDを設定するときに使用します。設定状況に応じて、セキュリティ表示灯（14）の点灯状態が変わります。

14. セキュリティ表示灯
セキュリティ ON/OFF 切換スイッチ（17）を ON にすると点灯し、OFF にすると消灯します。

15. 音量つまみ
出力レベルを調節します。

16. アンテナアッテネータースイッチ
各アンテナごとに感度を設定でき、ワイヤレスマイクを近づけて使用したときの混信を軽減させます。

17. セキュリティ ON/OFF 切換スイッチ
セキュリティ ON と OFF を切り換えます。

18. チャンネルスキャンスイッチ
チャンネルを検索して、使われてないチャンネルをグループ表示（9）およびチャンネル表示（12）に表示します。

ご注意

チャンネルスキャンできるのは、デジタルワイヤレスシステムのチャンネル（グループ A ～ F）のみです。アナログワイヤレスシステムのチャンネル（グループ 1 ～ 6）はスキャンしません。

19. チャンネル自動設定スイッチ
チャンネルを検索して、使われてないチャンネルに自動設定します。

ご注意

自動設定されるチャンネルは、デジタルワイヤレスシステムのチャンネル（グループ A ～ F）のみです。



取扱説明書

パワーディストリビュータ

PD-1130

■ 概要

本機は、ラック内の機器の電源を同時に ON、OFF する電源分配器です。また、外部機器からのリモート制御や増設が可能です。

■ 特長

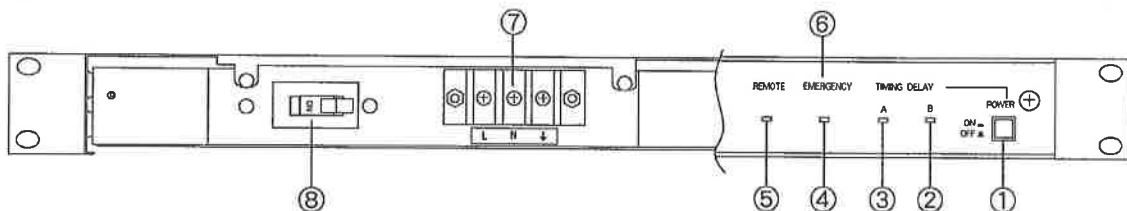
- ・ 19 インチ EIA 規格のラックにマウントできます (1 サイズ)。
- ・ 最大電流容量は 30A、それ以上必要なときは、複数台接続可能です。
- ・ ラインノイズフィルタ内蔵により、外来ノイズを減衰させます。
- ・ 非常用放送設備からの信号で、電源を遮断できます。
- ・ リモートコントロールが可能です。
- ・ A 系統と B 系統は遅延回路が内蔵されておりますので、ラッシュ電流の分散とポップノイズの防止ができます。

■ 使用上のご注意

- ・ 本機は、ラックマウント専用ですので、ご使用の際は、必ずラックにマウントしてください。
- ・ 音響機器以外の機器は接続しないでください。

■ 各部の名称とはたらき

[前面パネル]



①電源スイッチ (POWER)

押すと (■ ON) 電源が入り、もう一度押すと (■ OFF) 電源が切れます。

②B系統出力インジケータ (B)

A 系統に出力されてから約 2 秒後に点灯し、B 系統に出力されていることを示します。

③A系統出力インジケータ (A)

電源スイッチを押すと点灯し、A 系統に出力されていることを示します。

④非常インジケータ (EMERGENCY)

本機に接続された非常用放送設備の制御信号が入ったとき点灯し、A・B 両系統の出力が遮断されます。

⑤リモートインジケータ (REMOTE)

外部信号により本機がリモートコントロールされ、電源が出力されているときに点灯します。

⑥前面パネル

主電源を本機に接続するときやサーキットプロテクタを操作するときは、この前面パネルをはずしてください。通常はつけた状態で使用してください。

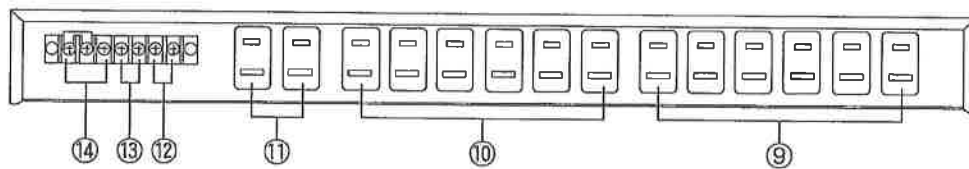
⑦主電源接続端子

主電源のライブ側を L、ニュートラル側を N に接続してください。グラウンドは \perp に接続してください。

⑧サーキットプロテクタ

本機のコンセントから合計 30A 以上の機器を接続して動作させると、このサーキットプロテクタが OFF になります。そのときは合計 30A 以下に機器を接続しなおしてから ON にしてください。

〔後面パネル〕



⑨ A 系統出力コンセント

電源スイッチまたは、リモートコントロールによりこのコンセントに接続された機器の電源を ON、OFF できます。

⑩ B 系統出力コンセント

電源スイッチまたは、リモートコントロールによりこのコンセントに接続された機器の電源を ON、OFF できます。A 系統出力コンセントの電源が ON になってから約 2 秒後に ON になります。

⑪ 非連動コンセント

電源スイッチの ON、OFF に関係なく電源が出力されます。

⑫ リモート出力端子 (REMOTE OUT)

増設機をリモートコントロールするときは、増設機のリモート入力端子と接続してください。

⑬ リモート入力端子 (REMOTE IN)

本機をリモートコントロールするとき、この端子をショートすると電源が入り、オープンにすると電源が切れます。このとき電源スイッチは必ず OFF にしてください。

⑭ 非常用入力端子 (EMERGENCY)

非常用放送設備と接続してください。非常信号が入ると A、B 系統出力コンセントの出力が切れます。



取扱説明書

TOA 1000 series

マルチチャンネルモニタ

MP-1216

■ 概要

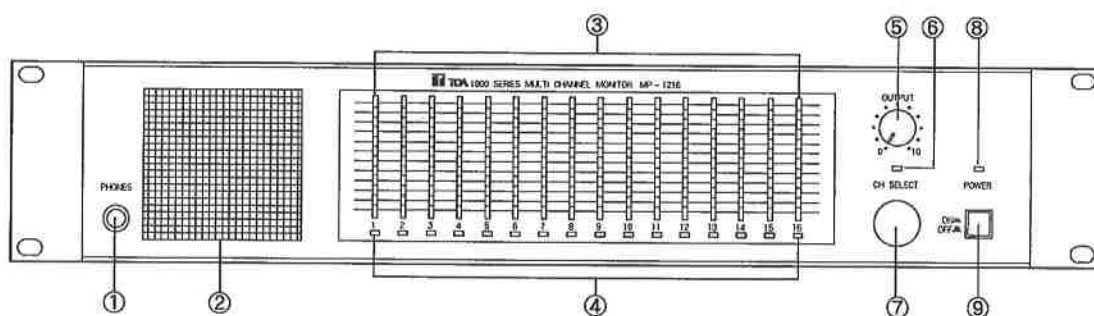
本機は、19インチのラックにマウントできるマルチチャンネルモニタで、最大16系統のアンプの入出力レベルをメータで監視することができ、また1チャンネルを選択してスピーカからモニタすることもできます。

■ 使用上のご注意

- 電源電圧はAC100V \pm 10%(50/60Hz)以内でご使用ください。
- 腐食性の化学薬品や、ジュース・塩水などの液体がかからないようにしてください。
- 異常が生じたときは、必ず販売店にご相談ください。内部に触れると感電することがあります。

■ 各部の名称と働き

(フロントパネル)



① ヘッドホンジャック (PHONES)

チャンネル選択つまみ⑦で選んだチャンネルの音声は、ヘッドホン挿入して聞くことができます。この時スピーカからの音は遮断されます。

② スピーカ

チャンネル選択つまみ⑦で選んだチャンネルの音声がこのスピーカから出力されます。

③ レベルメータ (1~16)

各チャンネルの信号レベルが表示されます。

④ チャンネルインジケータ (1~16)

スピーカまたはヘッドホンでモニタされているチャンネルを表示します。電源投入時は、常に16番目のチャンネルが点灯します。

⑤ 音量調節つまみ (OUTPUT)

スピーカまたはヘッドホンの音量を調節します。

⑥ チャンネル選択つまみインジケータ

チャンネル選択つまみが動作可能な時に点灯します。2台リンク時にスレーブ (SLAVE) に設定されていると、消灯します。

⑦ チャンネル選択つまみ (CH SELECT)

スピーカまたはヘッドホンでモニタするチャンネルを選択します。

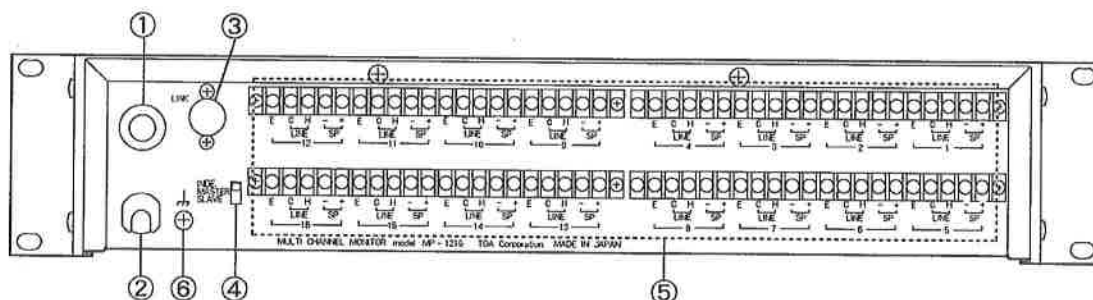
⑧ 電源インジケータ

本機に電源が入ると点灯し、切れると消灯します。

⑨ 電源スイッチ (POWER)

押すと (ON) 電源が入り、もう一度押すと (OFF) 電源が切れます。

(リアパネル)



① ヒューズホルダ

必ず表示どおりの容量、同じ形のヒューズを使用してください。

② 電源コード

AC100Vのコンセントに差し込んでください。

③ リンクソケット (LINK)

本機を2台リンクして使用する時、別売のリンクケーブル (YA-8) を挿入してください。

④ リンク設定スイッチ

(INDE./MASTER/SLAVE)

単独で使用する時はINDE.側に、2台をリンクして本機をマスターとする時はMASTER側に、スレーブとする時はSLAVE側にして下さい。

⑤ 入力端子 (1~16)

ライン信号→LINE (H:ホット, C:コールド, E:7-ス)

スピーカ信号 (ハイインピーダンス、ローインピーダンス)

→SP (+, -)

不平衡のライン信号を入力する時は、付属のショートピースでC-E間を短絡してください。なお、アースループによるハムノイズ等が発生する場合はショートピースを抜き、H-C間に入力してください。接続後は端子カバーを取付けてください。

⑥ グランド端子

アースをとってください。



簡易操作説明書

デジタルパワーアンプ 550W × 4

DA-550F

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

概要

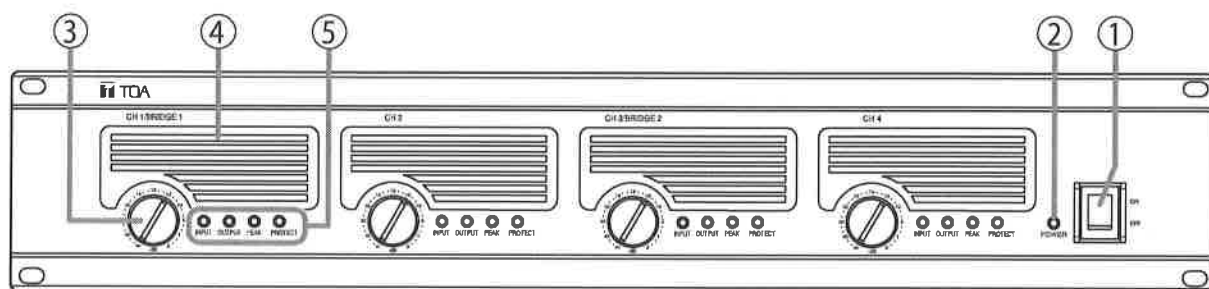
DA-550F は、550 W × 4 チャンネル (4 Ω 出力)、350 W × 4 チャンネル (8 Ω 出力) の高出力で耐久力のあるデジタルパワーアンプです。

また、チャンネル1と2、チャンネル3と4の出力をそれぞれブリッジ接続することができ、1,100 W (8 Ω) × 2 の2チャンネルステレオアンプ、または1,100 W (8 Ω) + 550 W (4 Ω) × 2 の3チャンネルアンプとして使用できます。

店舗・固定音響設備などのサウンドシステムとして幅広く使用できます。

各部の名称とはたらき

[前面]



1. 電源スイッチ [ON / OFF]

ON 側にすると電源が入り、OFF 側にすると電源が切れます。

2. 電源表示灯 [POWER]

電源を入れると、青色に点灯します。

3. 入力レベル調節つまみ

[CH 1/BRIDGE 1、CH 2、CH 3/BRIDGE 2、CH 4]
各チャンネルの入力レベルを調節します。

ブリッジ接続をした場合

- ・チャンネル1、2をブリッジ接続（ブリッジ接続1 ON/OFF スイッチがON）したとき、CH 1/BRIDGE 1 つまみはチャンネル1、2の入力レベルを調節します。
このとき、CH 2の入力レベル調節つまみは機能しません。
- ・チャンネル3、4をブリッジ接続（ブリッジ接続2 ON/OFF スイッチがON）したとき、CH 3/BRIDGE 2 つまみはチャンネル3、4の入力レベルを調節します。
このとき、CH 4の入力レベル調節つまみは機能しません。

4. 通気パネル（通風口）

通気パネルの内側にはフィルターが付いています。フィルターの清掃は、通気パネルを取り外して行ってください。

5. 表示灯 [INPUT、OUTPUT、PEAK、PROTECT]

各表示灯は、左から以下のとおりです。

● 入力表示灯 [INPUT]

約 -20 dB を超えるレベルの信号が入力されると、入力レベル調節つまみ③の位置に関係なく緑色に点灯します。

● 出力表示灯 [OUTPUT]

出力レベルが8 Ω 負荷で約1 W 以上のとき黄色に点灯します。

● ピーク表示灯 [PEAK]

出力信号がクリップ（ひずみが発生）すると、赤色に点灯します。

● 保護回路作動灯 [PROTECT]

保護回路が働いたときに、赤色に点灯します。また、電源を入れたときは、約2秒間の赤色点灯後に消灯します。



簡易操作説明書

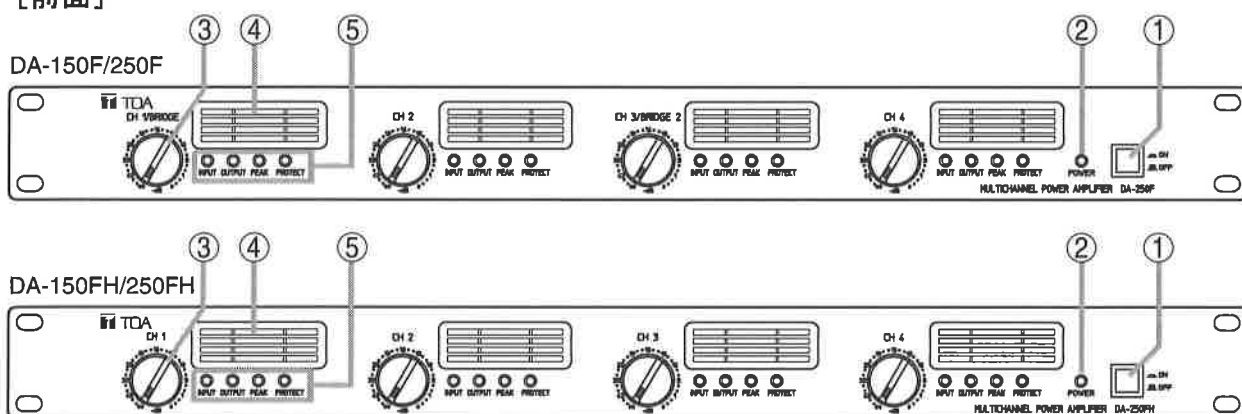
マルチチャンネルパワーアンプ

DA-150F
DA-150FH
DA-250F
DA-250FH

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

各部の名称とはたらき

[前面]



① 電源スイッチ [ON/OFF]

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 電源表示灯 [POWER]

電源を入れると青色に点灯します。

③ 入力音量つまみ [CH 1 (BRIDGE 1)、CH 2、CH 3 (BRIDGE 2)、CH 4]

各チャンネルの入力音量を調節します。

ブリッジ接続をした場合 (DA-150F/250F のみ)

- ・ チャンネル1、2 をブリッジ接続 (背面のブリッジ接続 1 ON/OFFスイッチがON) したとき、CH1/BRIDGE1つまみはチャンネル1、2の入力音量を調節します。
このとき、CH2の入力音量つまみは機能しません。
- ・ チャンネル3、4 をブリッジ接続 (背面のブリッジ接続 2 ON/OFFスイッチがON) したとき、CH3/BRIDGE2つまみはチャンネル3、4の入力音量を調節します。
このとき、CH4の入力音量つまみは機能しません。

④ 通気パネル (通風口)

通気パネルの内側には、フィルターが付いています。

フィルターの清掃は、通気パネルを取り外して行ってください。

⑤ 表示灯 [INPUT、OUTPUT、PEAK、PROTECT]

各表示灯は、左から以下のとおりです。

● 入力表示灯 [INPUT]

約 -20 dB を超えるレベルの信号が入力されると、入力音量つまみの位置に関係なく緑色に点灯します。

● 出力表示灯 [OUTPUT]

出力レベルが、DA-150F/250F は8 Ω 負荷で約1 W 以上、DA-150FH は66.7 Ω 負荷で約1 W 以上、DA-250FH は40 Ω 負荷で約1 W 以上で黄色に点灯します。

● ピーク表示灯 [PEAK]

出力信号がクリップ (ひずみが発生) すると、赤色に点灯します。

● 保護回路作動灯 [PROTECT]

保護回路が働いたときに赤色に点灯します。

また、電源を入れたときは、約2秒間の赤色点灯後に消灯します。

■ 概要

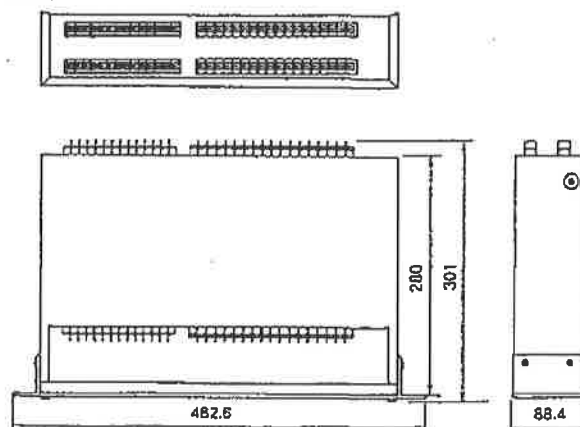
本機は、ラックの内部機器とラック外の機器を接続する端子盤です。ラックの内部機器をリアパネルのライン端子とスピーカー端子に接続し、フロントパネルをはずして、ラック外の機器ケーブルを前面部端子盤に接続してください。

■ 使用のご注意

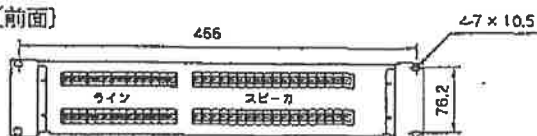
- 本機はラックマウント専用です。ご使用の際は、必ずラックマウントで使用してください。
- 音響機器以外の機器は接続しないでください。
- ライン端子の前面部と後面部は2芯シールド線で接続されていますので信号ライン以外に使用しないでください。

■ 外観寸法図

〔後面〕



〔前面〕



〔フロントパネルを外した前面部〕



リモートコンソールユニット

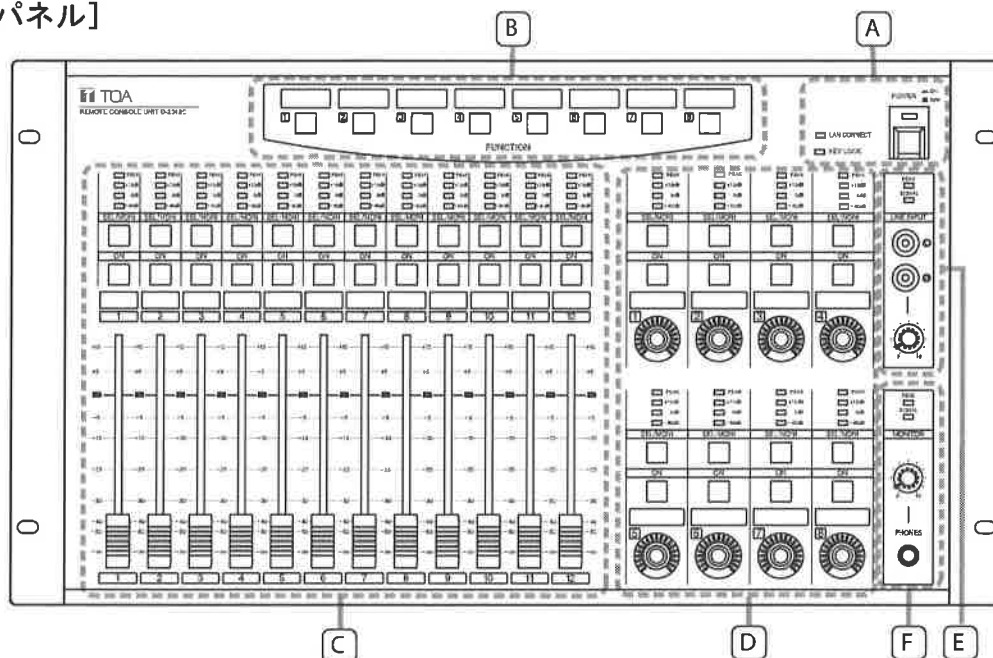
簡易操作説明書

D-2012C

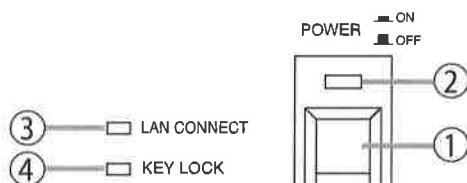
詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

各部の名称とはたらき

[操作パネル]



● A 部



1. 電源スイッチ [POWER ON/OFF]

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。また、電源がONになると接続パネルの電源リモート出力端子がメイクし、OFFになるとブレイクします。

2. 電源表示灯

電源を入れると点灯します。

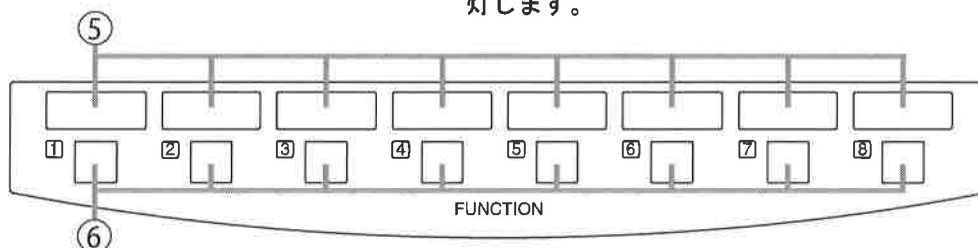
3. LAN 接続表示灯 [LAN CONNECT] (緑)

D-2012C が制御対象のD-2008SP を制御可能な状態のときに点灯します。

4. キーロック表示灯 [KEY LOCK] (赤)

操作キー・つまみがロックされているときに点灯します。

● B 部



5. 書き込みスペース

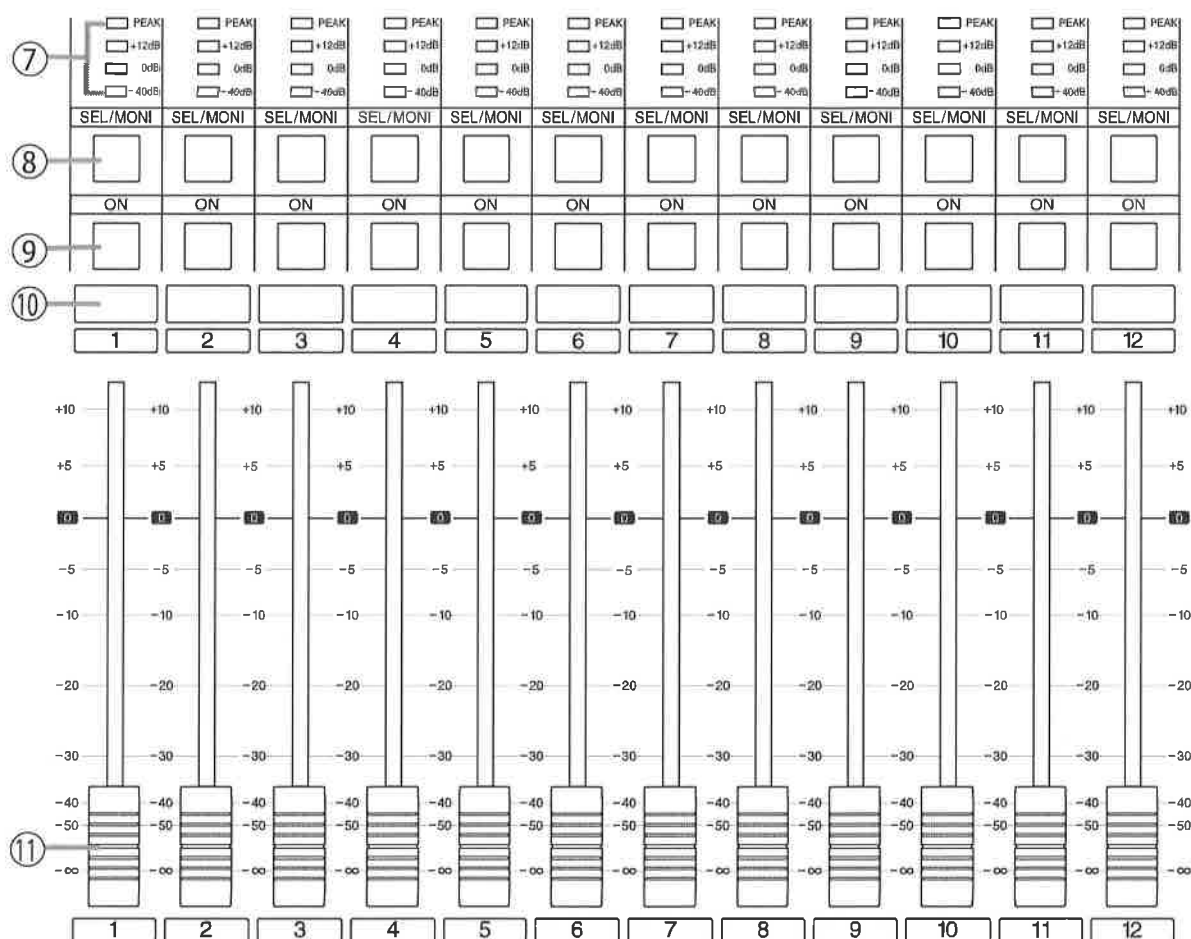
キーに割り付けられた機能名などを書き込むことができます。

6. 機能キー [FUNCTION 1～8]

接点の制御、プリセットメモリーの呼び出しなど割り付けられた機能を実行します。

※ 機能の設定およびキーへの割り付けは、D-2000設定ソフトウェアで行います。

● C 部



7. レベル表示灯

[PEAK、+12 dB、0 dB、-40 dB]

各チャンネルの信号レベルを表示します。入力チャンネルの場合はプリフェーダー、出力チャンネルの場合はアフターフェーダーの値です。PEAK 表示灯が常時点灯状態にならないように、音量を調節してください。

8. モニター用チャンネル選択キー

[SEL/MONI]

モニターしたいチャンネルを選択します。押すとキーが点灯して、そのチャンネルがモニターできます。もう一度押すと消灯し、モニターされません。

9. チャンネル ON/OFF キー [ON]

各チャンネルの出力を ON/OFF します。押すとキーが点灯して、そのチャンネルが出力されます。もう一度押すと消灯し、出力されません。

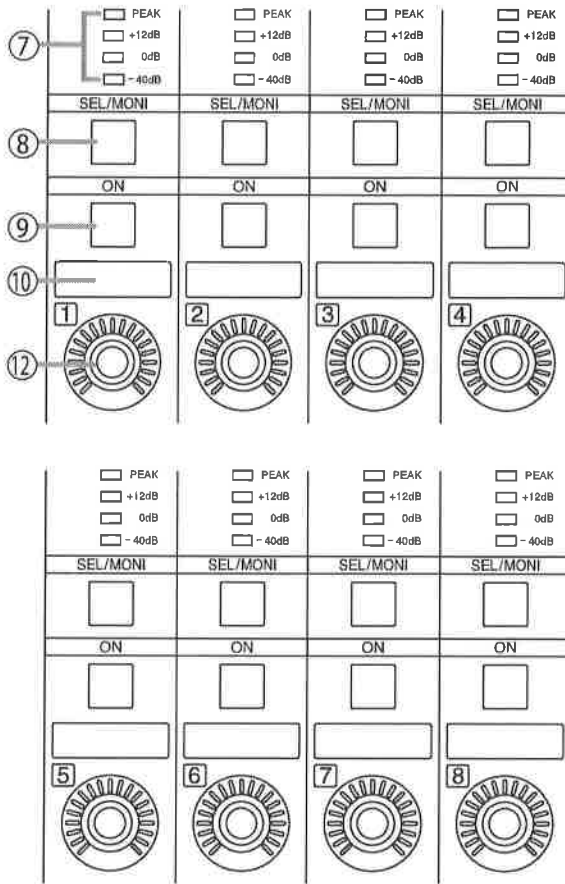
10. 書き込みスペース

入力／出力チャンネルの名称などを書き込むことができます。

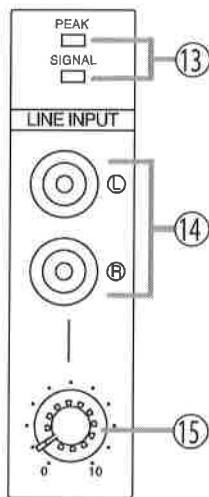
11. モーターフェーダー [1～12]

各入力または出力チャンネルの音量を調節します。「0」の位置が基準となり、「-∞」の位置で最小音量、「+10」の位置で最大音量になります。※ 音量調節の対象となる入力または出力チャンネルは、D-2000 設定ソフトウェアで設定します。

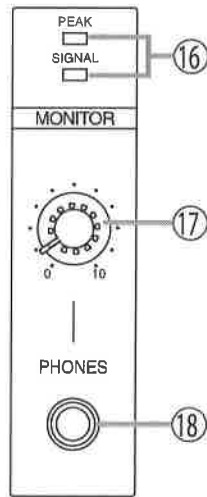
● D 部



● E 部



● F 部



※ ⑦～⑩の名称とはたらきについては、
前ページをお読みください。

12. ロータリーエンコーダー [1～8]

各入力または出力チャンネルの音量を調節します。時計方向に回すと音量は大きくなり、反時計方向に回すと音量は小さくなります。(つまみはエンドレスで回転します。)

つまみの回転に合わせて、つまみの周囲の表示灯が点灯します。

※ 音量調節の対象となる入力または出力チャンネルは、D-2000 設定ソフトウェアで設定します。

13. ライン入力信号表示灯 [SIGNAL、PEAK]

ライン入力音量調節つまみ (15) で調節された信号の大きさを表示します。

ライン入力端子に基準レベルの-20 dB を超える信号が入力されると、SIGNAL 表示灯が点灯します。

ライン入力端子の信号がクリップすると、PEAK 表示灯が点灯します。

14. ライン入力端子 [LINE INPUT、L/R]

-10dB*、10kΩ、ステレオ入力

ラインレベルのステレオ入力機器を接続します。この端子を使用するときは、D-2000 設定ソフトウェアでD-2008SP 側の設定をしてください。

*0 dB = 0.775 V

15. ライン入力音量調節つまみ

ライン入力端子に接続された機器からの入力レベルを調節します。

時計方向に回すと音量は大きくなり、反時計方向に回すと音量は小さくなります。

SIGNAL 表示灯が点灯し、PEAK 表示灯が点灯しないように、調節してください。

16. モニター信号表示灯 [SIGNAL、PEAK]

モニター対象となる信号の大きさを表示します。モニター対象となる信号が基準レベルを-20 dB 超えるレベルになると、SIGNAL 表示灯が点灯します。

モニター対象となる信号レベルがクリップ寸前になると、PEAK 表示灯が点灯します。

モニターしたい信号は、モニター用チャンネル選択キー (8) で選択します。

17. モニター音量調節つまみ [MONITOR]

ヘッドホン出力端子に接続されたヘッドホンでのモニター音量を調節します。

時計方向に回すと音量は大きくなり、反時計方向に回すと音量は小さくなります。

18. ヘッドホン端子 [PHONES]

適合インピーダンス 16Ω 以上

モニター用チャンネル選択キー (8) で選択されたチャンネルの音声をモニターできます。16 Ω 以上のステレオヘッドホンを接続してください。モニター音量はモニター音量調節つまみ (17) で調節します。



簡易操作説明書

ダイナミック型デジタルワイヤレスマイク WM-D1250

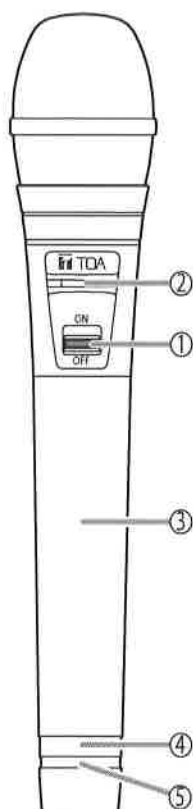
詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

概要

本機は、量感ある力強い音質のダイナミック型マイクユニットを使用したデジタルワイヤレスマイクです。

各部の名称とはたらき

【前面】



1. 電源スイッチ [ON/OFF]

電源スイッチを ON 側にスライドさせると電源が入り、OFF 側にスライドさせると電源が切れます。

2. バッテリーチェッカー (緑／橙／赤)

点灯：電源 ON

消灯：電源 OFF

点灯時の色で電池残量の目安がわかります。

緑：電池残量が十分にあります。

橙：電池残量が少なくなり始めています。

赤：電池残量が少なくなり、電池交換が必要です。

* 電池残量がなくなっても消灯します。

※ 周波数表にないグループ・チャンネルに設定されている場合、緑と赤が交互に点灯します。

周波数表を参照して、使用できるグループ・チャンネルを設定してください。

また、チューナーのグループ・チャンネルと同じ設定にしてください。

3. 電池ケース

内部に各種設定スイッチと電池収納部があります。

4. チャンネルシール貼付部

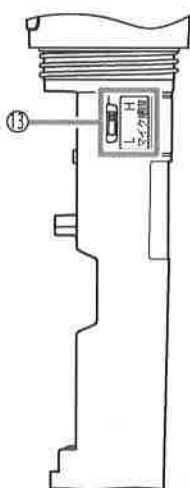
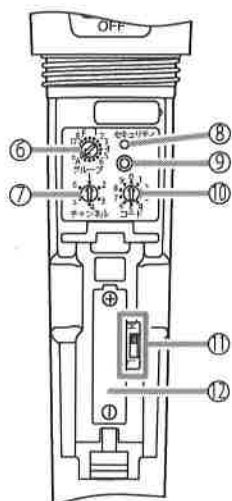
付属のチャンネルシールを貼り付けることにより、マイクのグループとチャンネルを識別することができます。

5. カラーマーク貼付部

付属のカラーマークを貼り付けることにより、マイクと対応するチューナーユニットを識別することができます。

【電池ケース内 前面】

【電池ケース内 側面】



6. グループ設定スイッチ

7. チャンネル設定スイッチ

8. セキュリティ表示灯

点灯：セキュリティ ON

消灯：セキュリティ OFF

9. セキュリティ設定スイッチ

10. コード設定スイッチ [0 ~ 9]

11. 送信出力切換スイッチ [H/L]

H：6 mW

L：1 mW

12. 電池収納部

専用充電電池または単3形アルカリ乾電池 (LR6) を入れてお使いください。

13. マイク感度切換スイッチ [H/L]

H：0 dB

L：-10 dB

デジタルワイヤレスマイク

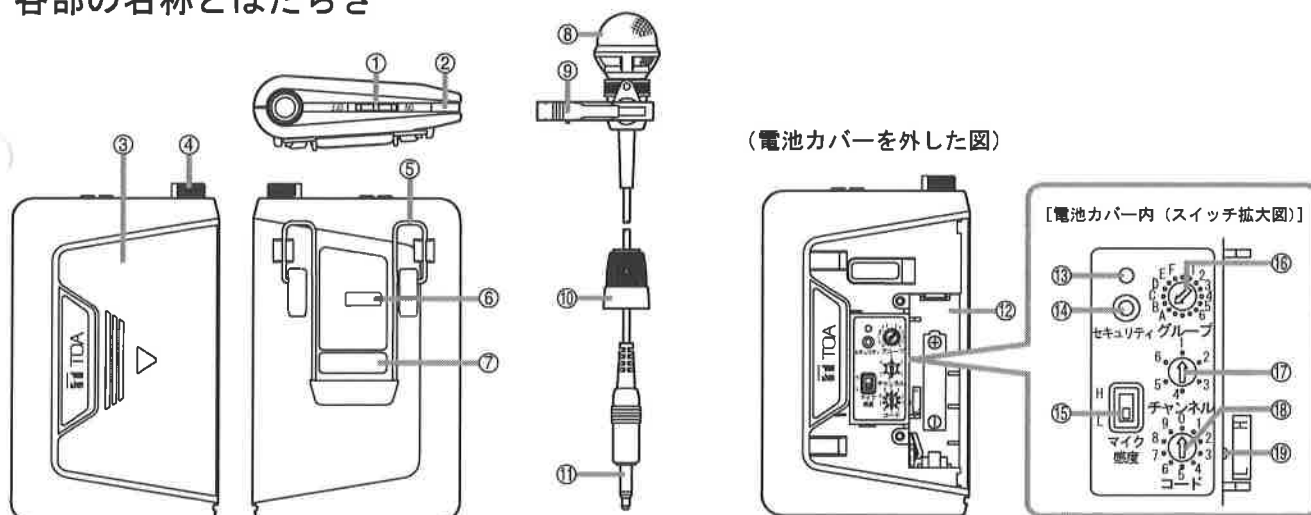
WM-D1300

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

概 要

本機は、高感度で明瞭な音質のバックエレクトレットコンデンサーマイクユニットを使用したツーピース型のスピーチ用デジタルワイヤレスマイクです。

各部の名称とはたらき



1. 電源スイッチ [ON/OFF]

電源スイッチをON側にスライドさせると電源が入り、OFF側にスライドさせると電源が切れます。

2. バッテリーチェッカー (緑／橙／赤)

点灯：電源 ON
消灯：電源 OFF *

点灯時の色で電池残量の目安がわかります。

緑：電池残量が十分にあります。

橙：電池残量が減り始めています。

赤：電池残量が少なくなり、電池交換が必要です。

* 電池残量がなくなっても消灯します。

3. 電池カバー

電池の挿入時、グループ・チャンネル設定時に、▽印の方向にスライドさせて外します。

4. マイク入力ジャック

マイクの入力プラグをしっかりと差し込み、ロックつまみを右に回してロックしてください。

5. 本体クリップ

本体を腰ベルトや胸ポケットに固定装着するときに便利です。

6. チャンネルシール貼付部

付属のチャンネルシールを貼り付けることにより、マイクのグループとチャンネルを識別することができます。

7. カラーマーク貼付部

付属のカラーマークを貼り付けることにより、マイクと対応するチューナーユニットを識別することができます。

8. マイク部

9. タイピン型クリップ

衣服などにはさんで使います。

10. ロックつまみ

マイクを固定します。

11. 入力プラグ

φ3.5 mmモノラルプラグ (EIAJ RC701)

12. 電池収納部

専用充電電池または単3形アルカリ乾電池 (LR6) を入れてお使いください。

13. セキュリティ表示灯

点灯：セキュリティ ON

消灯：セキュリティ OFF

14. セキュリティ設定スイッチ

15. マイク感度切換スイッチ [H/L]

H : +10 dB

L : 0 dB

16. グループ設定スイッチ

17. チャンネル設定スイッチ

18. コード設定スイッチ [0 ~ 9]

19. 送信出力切換スイッチ [H/L]

H : 6 mW

L : 1 mW